

(様式1)

校 種	④ ・ 中	学校番号	8	学校名	宇都宮市立昭和小学校
-----	-------	------	---	-----	------------

令和2年度 学校経営計画

1 教育目標

(1) 基本目標

国際社会の中で、日本人としての自覚を持ち、心身ともに健康で創造力に富み、豊かな情操と正しい判断力・実践力のある心豊かで、たくましく生きる児童を育成する。

(2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）

《目指す児童像》	「やさしい子」	心豊かで思いやりのある子
	「元気な子」	健やかでたくましい子
	「よく学ぶ子」	自ら学び自分をのばす子
《目指す教師像》	「頼れる先生」	倫理観と使命感をもち、誰からも信頼される先生
	「児童とともにある先生」	児童一人一人を大切にし、よさを認め励ます先生
	「学び続ける先生」	指導力の向上に努め、ともに学び続ける先生
《目指す学校像》	「活気ある学校」	自主的・自律的に特色ある教育活動を推進する学校
	「安全・安心な学校」	安全・安心の確保のため、組織的に取り組む学校
	「地域とともにある学校」	家庭、地域と一体となって児童を育む学校

2 学校経営の理念

学校教育目標の基本目標・具体目標を実現するための学校経営を進めるにあたり、児童にとって「行きたくなる学校」、保護者や地域住民にとって「行かせたい学校」、教職員にとって「勤めたい学校」、そして誰にとっても「魅力ある学校」にしたいと考える。

- (1) 児童が「行きたくなる学校」とは、児童一人一人が自分のよさに気付き、自信を深めながら生き生きと生活できる学校であると考え。

そのため、児童一人一人のよさを認め、努力を励ます指導に努めるとともに、全教育活動を通して豊かな体験活動を重視し、『活気と潤いのある学校づくり』を推進する。

- (2) 保護者や地域住民が「行かせたい学校」とは、児童の生命や人権が守られ、信頼される教職員が使命感をもって児童の指導にあたる学校であると考え。

そのため、安全・安心な学校環境づくりに努めるとともに、教職員が教育的愛情と高い倫理観や人権意識をもって職務にあたり、『信頼される学校づくり』を推進する。

また、学校教育の目標を家庭や地域と共有しながら、理解と協力・参画を得て『地域とともにある学校づくり』を推進する。

- (3) 教職員が「勤めたい学校」とは、教職員が健康でいきいきと児童に向き合うとともに、教職員が相互に支え合いながら質の高い教育の実現を目指す学校であると考え。

そのため、教職員の働き方改革の視点に立って職場環境の改善に努めるとともに、教職員個々の持ち味が生かされながら高い同僚性を発揮できる『チーム昭和』を推進する。

- (4) 誰にとっても「魅力ある学校」とは、学校の歴史と伝統が大切にされ、学校独自の教育活動に誇りをもつことができる学校であると考え。

そのため、地域の教育資源を積極的に活用しながら創意工夫を生かして本校独自の教育活動の充実を図り、『特色ある学校づくり』を推進する。

3 学校経営の方針

学校教育目標の実現のため、「教育基本法」「学校教育法」「学習指導要領」並びに「第2次宇都宮市学校教育推進計画」「第2次学校教育スタンダード」の趣旨や内容を踏まえた上で、本校の学校評価や各種調査の結果に基づく実態に基づき、以下の方針に基づき学校経営の充実に努める。

- (1) 教育活動の質の一層の向上を目指し、カリキュラム・マネジメントにより学習効果の最大化を図るとともに、本年度の重点目標等について学校と保護者、地域住民が共有できるようにしながら地域の教育力を有効に活用して特色ある教育活動を推進する。
- (2) 「心豊かで思いやりのある子」を育成するため、自他の生命と人権を尊重する心や思いやりの心など育む豊かな体験活動と、全教育活動を通じた道徳教育を推進する。
- (3) 「健やかでたくましい子」を育成するため、健康で安全な生活ができる基本的生活習慣を身に付ける指導と、体力の向上を図る教育活動を推進する。
- (4) 「自ら学び自分をのばす子」を育成するため、主体的、対話的で深い学びを重視した授業を展開し、知識及び技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力・人間性等を育む学習活動を推進する。
- (5) 全ての教職員が、高い倫理観や人権意識と使命感をもつとともに真摯な態度で自己研鑽に努め、児童一人一人を大切に教育活動を実践し、誰からも信頼される教職員として職務に励む。
- (6) 教職員が健康でいきいきとやりがいをもって勤務し、児童と向き合いながら質の高い教育が行えるよう、教職員の働き方改革の視点に立ち、職場環境改善のための取組を推進する。
- (7) 星が丘地域学校園小中一貫教育を「自己肯定感を高めること」を最重点目標として推進するとともに、学校地域協議会との連携強化により地域とともにある学校づくりを推進する。

〈星が丘地域学校園教育ビジョン〉『未来を見つめ、学び続ける力の育成』

4 教育課程編成の方針

- (1) 日本国憲法、教育基本法、学校教育法、小学校学習指導要領に示された教育の目標や内容、県・市の学校教育の重点、努力の方向に基づき、更には地域社会や児童の実態等を十分に把握し「人権尊重の教育」を基盤とし、調和と統一のある教育活動を積極的に推進する。
- (2) 心身の発達段階や特性・子どもの育成に関わる多くの関係者の願いを考慮し「一人一人が優しさへの感性を豊かに備え、それぞれの可能性を最大限に発揮できる学校」を目指す。
- (3) 学習指導要領の原則を踏まえ、教育内容の質的・量的な充実を目指した学習指導を展開し基礎的・基本的な事項の定着と個に応じた学習活動の展開の充実に努める。
- (4) 各教科・道徳・特別活動・総合的な学習の時間・外国語活動などの関連を図り、調和と統一のとれた編成に努める。
- (5) 前年度活動の評価等、地域社会の実情・児童の実態等を踏まえ、柔軟な指導の形態・指導法の工夫・教育資源（人・地域・機関等）の活用につとめ、一人一人の教育的な課題がより確かに解決が図られるよう展開を工夫する。

5 今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○）

(1) 学校運営

合言葉を《からだ元気　こころ元気　元気に学ぶ　昭和の子》として、全教職員がチーム力を高めながら活気ある学校づくりに努め、『昭和の子　元気プラン2020』を推進する。

また、地域の教育力をこれまで以上に有効に活用して特色ある教育活動を推進するとともに、学校地域協議会〈夢工房〉と一体となって、地域とともにある学校づくりを推進する。

(2) 学習指導

～主体的・探究的・協働的に学ぶ児童の育成～

- ・ 児童が自ら考え分かりやすく表現できるようにするための授業の進め方の工夫
- ・ 基礎・基本定着のための「じっくりタイム」の実施と家庭学習の習慣化
- ・ 夢や希望の実現に向けて努力する態度を育むためのキャリア教育の推進
- ・ よりよい授業を目指した学力調査等の結果を分析・活用した授業改善

(3) 児童生徒指導

～自分を大切にし、他者もかけがえのない存在として大切にする態度・実践力の育成～

- ・ 自己肯定感を高めるための認め励ます指導の推進
- ・ 進んで元気なあいさつができるようにするための、児童主体のあいさつ運動の促進
- ・ すべての児童が楽しく明るく生活できるようにするためのいじめゼロ運動の推進
- ・ 豊かな心を育むための地域の教育資源を生かした体験活動の実施

(4) 健康（体力・保健・食・安全）

～自他の命や健康の大切さを知り、健康・安全・体力の向上に心がける態度・実践力の育成～

- ・ 自分の命を守る行動力を身に付けるための、安全指導の推進
- ・ 自らの健康を管理する力を身に付けるための、保健教育と食育の推進
- ・ 進んで運動し体力を高めるための、外遊びの奨励や各種体力検定の実施
- ・ 心身のたくましさを育むための八幡山を活用した活動の実施

6 学習指導、児童生徒指導、健康（体力・保健・食・安全）に関する取組

※ 様式2～4参照

7 特色ある学校づくり等に関する取組

(1) 育てたい資質・能力

自己の成長を目指し、豊かなかかわりを通して、主体的に取り組む意欲や態度

(2) 具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」に関する取組には文頭に◇）

本校の教育活動を推進する上での合言葉《からだ元気 ころ元気 元気に学ぶ 昭和の子》のもと、以下の取組により『昭和の子 元気プラン2020』を推進する。

ア からだ元気

- ◇・ 地域の人的資源、自然環境資源等豊かな教育資源を活用した体育的行事の実施
 - ・ 元気っ子健康体力チェックの結果を踏まえ継続的な補強運動の実施等、授業内容の工夫改善
- ◇・ 児童が自ら意欲を持って取り組める水泳・縄跳び・鉄棒検定の実施と休み時間の外遊びの奨励
 - ・ 関係機関と連携協力した交通安全教室、不審者を想定した避難訓練・防犯教室等の実施

イ こころ元気

- ◇・ 児童会を中心としたあいさつ運動の推進や縦割り班活動の効果的な実施
 - ・ いじめゼロ運動の推進と、いじめアンケートやQ.U.検査を活用したいじめの早期発見と早期解消
- ◇・ 地域の教育資源を生かし、豊かな感性をはぐくむ直接的な体験学習の推進
 - ・ 朝の日課の「読書タイム」等、本に親しむ環境作りや読み聞かせの充実
- ◇・ 幼保小連携の積極的な推進（八幡台幼稚園との交流）

ウ 元気に学ぶ

- ◇・ 八幡山公園を活用した豊かな体験活動の推進
- ◇・ 地域の事業所や官公庁等の協力を得たインターンシップ（6年）・まち探検（2年）等の実施
 - ・ かかやきルーム・そよかぜ学級（特別支援学級）と連携した特別支援教育の推進
 - ・ 基礎・基本を確実に定着させるための学習の時間（じっくりタイム）の実施

8 本市の重点施策・事業との関連

（1）地域とともにある学校づくり

① 基本的考え

地域と共にある学校づくりを推進するため、学校地域協議会〈夢工房〉の学校運営参画を促進するとともに、地域の教育力を有効に活用した教育活動の充実に努める。

② 主な取組

- ・ 学校地域協議会の会議運営の工夫・改善による積極的な学校運営参画の促進
- ・ 地域の人材、自然・施設等などの教育資源を有効に活用した体験活動の実施
- ・ 保護者や地域人材による学習支援の一層の充実
- ・ 「七夕かざり」「盆踊り」「どんど焼き」等、地域と協働で行う伝統行事の開催

（2）小中一貫教育・地域学校園

① 基本的考え

地域学校園教育ビジョン「未来を見つめ、学び続ける力の育成」を具現化するため、自己肯定感を高めることを最重点目標として、小中教職員がより相互理解を深めながら義務教育9年間を見通した教育活動を推進するとともに、学校地域協議会との連携強化により地域とともにある学校づくりを推進する。

② 主な取組

- ・ 9年間を通して自己肯定感を高めるための小中学校間の連携
- ・ カリキュラムの地域学校園化による義務教育9年間を見通した各教科等の指導
- ・ 地域の教育資源や人材を生かした宮っ子心の教育、宮未来キャリア教育の推進
- ・ 教科分科会を通した各教科の小中一貫した指導の実現と教員の指導力向上
- ・ 学校行事（運動会・音楽集会等）や地域行事（昭和まつり等）における中学生の参加協力
- ・ 小中学校間での一層の情報共有、相互支援による一貫した児童生徒指導や不登校対策の強化

（3）不登校対策

① 基本的考え

「児童が安心して通える学校」「児童が行きたい学校」の実現のため、認め励ます教育を推進し自己肯定感を高めながら、互いに尊重し合う温かな人間関係づくりをする。また、市教育センター作成の「不登校対策の手引書」の取組を着実に実施し、早期発見と組織的な対応に努める。

② 主な取組

- ・ 学級担任はもとより、全教職員による児童一人一人への共感的理解の姿勢に立ったかかわりと学習指導、生活指導両面での認め励ます教育による自己肯定感を高める指導の推進
- ・ アンケート、Q U調査、教育相談等の結果の分析と活用による不適応傾向のある児童の早期発見と不登校の兆候や傾向の児童に係る校内全体の情報共有（ケース会議）と組織的な対応
- ・ 「1日休んだら電話、2日続けて休んだら家庭訪問、かかわり続けてきつかけ探し」の実施
- ・ SCや関係諸機関、家庭との連携による不登校の早期発見と対処の総合的かつ効果的な実施